

**製品名: MYLK マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM82460**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	210kDa

**抗原情報**

遺伝子名	MYLK
別名	KRP; AAT7; MLCK; MLCK1; MMIHS; MYLK1; smMLCK; MLCK108; MLCK210; MSTP083
遺伝子 ID	4638.0
SwissProt ID	Q15746
免疫原	大腸菌で発現したヒト MYLK (AA:1375-1524) の精製された組み換え断片。

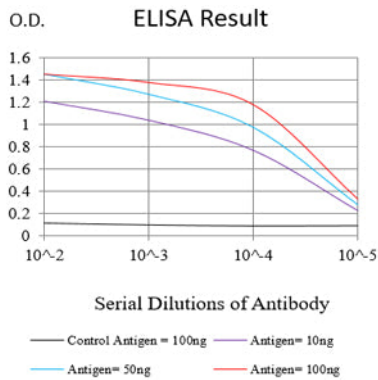
**背景**

この遺伝子は、免疫グロブリン遺伝子スーパーファミリーの筋肉メンバーであり、カルシウム/カルモジュリン依存性酵素であるミオシン軽鎖キナーゼをコードしています。このキナーゼはミオシン調節軽鎖をリン酸化して、ミオシンとアクチンフィラメントの相互

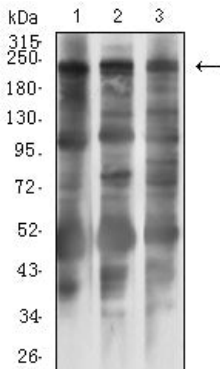
作用を促進し、収縮活性を生み出します。この遺伝子は、平滑筋および非筋肉の両方のアイソフォームをコードしています。さらに、3'領域のイントロン内の別のプロモーターを用いて、ミオシン軽鎖キナーゼのC末端と配列が同一である小さなタンパク質であるテロキンをコードしています。テロキンは平滑筋で独立して発現し、リン酸化されていないミオシンフィラメントを安定化させる働きをします。偽遺伝子は3番染色体のp腕に位置しています。カルシウム/カルモジュリン依存性酵素の4つのアイソフォームを生成する4つの転写バリエーションと、テロキンの2つのアイソフォームを生成する2つの転写産物が同定されています。さらに、全長の転写産物がないバリエーションも同定されています。

## 研究分野

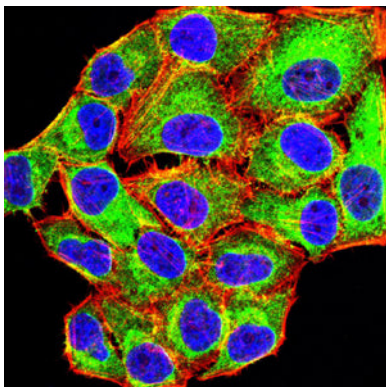
## 画像データ



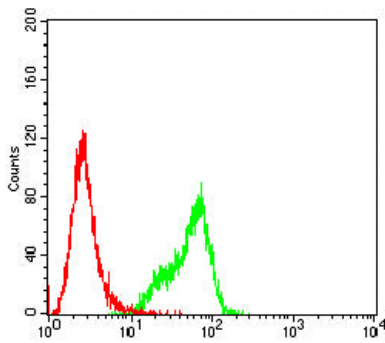
黒線: コントロール抗原 (100 ng) 紫線: 抗原 (10 ng) 青線: 抗原 (50 ng) 赤線: 抗原 (100 ng)



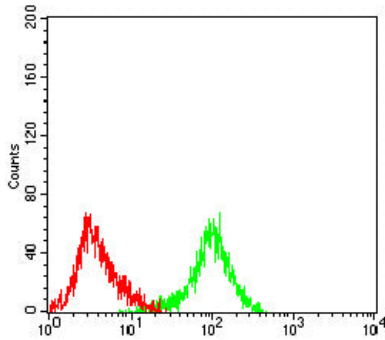
PC-3 (1)、C2C12 (2)、および HeLa (3) 細胞溶解物に対する MYLK マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



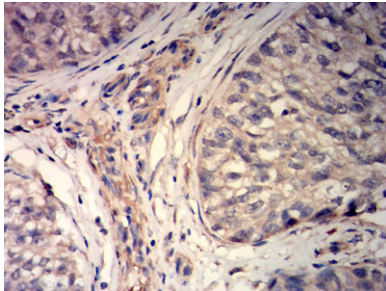
MYLK マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



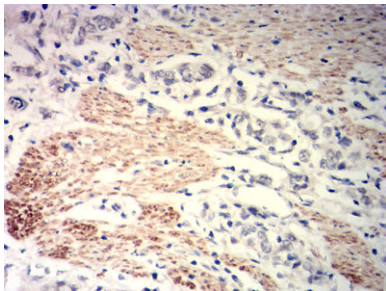
MYLK マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した HeLa 細胞のフローサイトメトリー分析。



MYLK マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した LNCAP 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による MYLK マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による MYLK マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト胃癌組織の免疫組織化学分析。